

一般社団法人日本リンパ網内系学会第2回理事会議事録

日時 平成28年5月20日 14:00~15:00

場所 名古屋大学医学部 鶴友会館2階大会議室

理事総数 22名

理事出席者 15名

飛内賢正、山川光徳、木下朝博、中村栄男、吉野 正、谷本光音、
三浦偉久男、鈴宮淳司、塚崎邦弘、鈴木律朗、竹屋元裕、瀬戸加大、
田丸淳一、大島孝一、中村直哉

理事欠席者 3名 谷脇雅史、松野吉宏、新津 望

監事出席者 岡本昌隆、中峯寛和

新理事・新監事出席者

青木定夫、山口素子、伊豆津宏二、小島 勝、橋本優子

議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

中村庶務担当理事より以下が報告された。

1) 平成28年3月31日現在の登録会員数 853名 (うち名誉会員31名、評議員155名、大学図書館等27名、広告会社2社)、賛助会員数 17社

2) 平成27年度 新入会者70名、自主退会者28名

会費未納者 149名 (1年間未納110名、2年間未納39名)

3年間会費未納者27名に関しては、定款第12条にのつとり退会扱いした。

平成27年度をもって自主退会を申し出られた評議員5名、逝去会員1名の報告があった。

2. 会計報告

・木下会計担当理事より平成27年度収支計算書・平成28年度収支予算書、教育委員会主催セミナーの平成27年度会計報告が行われ、承認された。

中峯寛和監事より、会計は正しく処理されており、適正に業務が執行されている旨報告があった。

3. 編集報告 (Journal of Clinical and Experimental Hematopathology)

山川編集担当理事より下記の報告がされた。

1) 平成 27 年度掲載済論文・平成 28 年度掲載予定論文

卷・号	発行年月日	掲載内容
Vol. 55, No. 1	平成 27 年 6 月発行	Original Article 3 編、Case Study 6 編、Letter to the Editor 1 編 (計 10 編)
No. 2	平成 27 年 10 月発行	Original Article 2 編、Case Study 8 編 (計 10 編)
No. 3	平成 27 年 12 月発行	Original Article 4 編、Case Study 6 編 (計 10 編)
学会抄録号	平成 27 年 6 月発行	第 55 回総会抄録
Vol. 56, No. 1	平成 28 年 6 月発行予定	Review 2 編、Original 4 編、Case Study 3 編、(計 9 編)
学会抄録号	平成 28 年発行予定	第 56 回総会抄録号

* 2015 年に投稿された論文については、以下の方々に査読をしていただいた。

青木定夫、石澤賢一、伊藤雅文、伊豆津宏二、稻垣 宏、猪口孝一、宇都宮興、大江倫太郎、大野仁嗣、岡本昌隆、加留部謙之輔、熊倉俊一、高野 桂、小島 勝、小杉浩史、佐藤 孝、佐藤康晴、下田和哉、杉本啓二、鈴木律朗、鈴宮淳司、高橋直人、高松 泰、田嶋克史、田丸淳一、千葉 滋、塚本憲史、飛内賢正、富田直人、豊嶋崇徳、永井宏和、中村直哉、中峯寛和、新津 望、橋本優子、堀池重夫、前田邦彦、正木康史、松村 到、丸山 大、三浦偉久男、宮崎香菜、宮崎泰司、三輪啓志、室井一男、山内高弘、山川光徳、山口素子、山本克也

(敬称略)

2) Journal of Clinical and Experimental Hematopathology (JCEH)

オンライン(2005年)後の論文掲載内訳

Vol. (No.): Year	Review article	Original article	Case study/ Meeting report, Highlights	Short communicati on	Letter to the editor	Total
45 (1): 2005	2	1	2	0	0	5
45 (2): 2005	1	3	1	0	0	5
46 (1): 2006	3	2	0	0	0	5
46 (2): 2006	2	3	0	0	0	5
47 (1): 2007	0	3	1	1	0	5
47 (2): 2007	2	1	3	0	0	6
48 (1): 2008	0	2	2	1	0	5
48 (2): 2008	0	1	4	1	1	7
49 (1): 2009	0	4	3	0	1	8
49 (2): 2009	1	4	2	1	0	8
50 (1): 2010	2	3	3	1	1	10
50 (2): 2010	2	4	4	1	0	11
51 (1): 2011	4	1	4	0	1	10
51 (2): 2011	2	3	5	0	1	11
52 (1): 2012	2	0	6	2	3	13
52 (2): 2012	0	2	4	2	3	11
52 (3): 2012	2	2	5	0	1	10
53 (1): 2013	1	2	10	0	1	14
53 (2): 2013	0	4	6	0	1	11
53 (3): 2013	2	1	6	1	1	11
54 (1): 2014	6	3	2	0	1	12
54 (2): 2014	1	3	5	0	2	11
54 (3): 2014	1	3	5	0	1	10
55 (1): 2015	0	3	6	0	1	10
55 (2): 2015	0	2	8	0	0	10
55 (3): 2015	0	4	6	0	0	10
56 (1): 2016	2	4	3	0	0	9

[56 (1): 2016 は平成 28 年 4 月 30 日現在]

3) 2015年理事長賞推薦論文

4編の候補論文について選考委員会（理事長と編集委員会）で評価した結果、以下の2論文が理事長賞として承認された。

- 55(3)-2 Sato H, et al. Plasmacytoid Dendritic Cells Producing Interferon- α (IFN- α) and Inducing Mx1 Play an Important Role for CD4 $^{+}$ Cells and CD8 $^{+}$ Cells in Necrotizing Lymphadenitis. JCEH 55(3):127-135, 2015
- 55(3)-4 Shimoda K, et al. TET2 Mutation in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. JCEH 55(3):145-149, 2015

理事長賞受賞論文

著者名（受賞者名）	論文名	JCEH掲載（巻号頁）
2011年		
Komohara Y, et al.	M2 Macrophage/Microglial Cells Induce Activation of Stat3 in Primary Central Nervous System Lymphoma	51(2):93-99, 2011
Kawano N, et al.	Clinical Features and Outcomes of 35 Disseminated Intravascular Coagulation Cases Treated with Recombinant Human Soluble Thrombomodulin at a Single Institution	51(2):101-107, 2011
2012年		
Ohnishi K, et al.	Immunohistochemical Detection of Possible Cellular Origin of Hepatic Histiocytic Sarcoma in Mice	52(3):171-177, 2012
2013年		
Hayashi A, et al.	The Evaluation of Immunohistochemical Markers and Thymic Cortical Microenvironmental Cells in Distinguishing Thymic Carcinoma from Type B3 Thymoma or Lung Squamous Cell Carcinoma	53(1):9-19, 2013
Kawabata H, et al.	Clinical Features and Treatment of Multicentric Castleman's Disease: A Retrospective Study of 21 Japanese Patients at a Single Institute	53(1):69-77, 2013

2014年			
	Saito Y, <i>et al.</i>	Role of CD204-Positive Tumor-Associated Macrophages in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma	54(1):59-65, 2014
	Goto N, <i>et al.</i>	Serum Soluble Tumor Necrosis Factor Receptor 1 Level is Associated with the Outcome of Diffuse Large B-Cell Lymphoma Patients Treated with the CHOP or R-CHOP Regimen	54(2):117-127, 2014
2015年			
	Sato H, <i>et al.</i>	Plasmacytoid Dendritic Cells Producing Interferon- α (IFN- α) and Inducing Mx1 Play an Important Role for CD4 $^{+}$ Cells and CD8 $^{+}$ Cells in Necrotizing Lymphadenitis.	55(3):127-135, 2015
	Shimoda K, <i>et al.</i>	TET2 Mutation in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma.	55(3):145-149, 2015

4) カラー印刷代と別冊代

JCEH 55(1): 2016から印刷会社変更により カラー印刷代と別冊代が変更になった。

[平成27年12月まで]

Color Charges

Please be aware that the cost of color printing will be incurred by the author. It costs ¥21,600 across the board independent of the number of color printing page.

《Offprints fees》

Copies	Total number of pages in the printed article				
	1~4	5~8	9~12	13~16	17~20
50	¥22,100	¥27,800	¥33,450	¥39,150	¥46,700
100	¥31,300	¥36,950	¥44,550	¥45,050	¥54,000
150	¥38,600	¥48,050	¥55,600	¥65,050	¥72,600
200	¥47,750	¥55,350	¥66,650	¥78,000	¥89,350
250	¥56,950	¥66,400	¥79,650	¥90,950	¥108,000
300	¥68,000	¥75,600	¥90,700	¥107,700	¥124,700

Page Charges

There are no page charges to authors in principle. You should, however, pay ¥32,400 (including tax of 8%) for your publication fees only when you do not order offprints.

《**Total fee**》 (including page charge and offprint fee) (Japanese yen)

Copies	Total number of pages in the printed article (Japanese yen)*									
	1~4		5~8		9~12		13~16		More than 17	
	W/B	Color	W/B	Color	W/B	Color	W/B	Color	W/B	Color
50	38,900	40,800	39,900	43,600	41,000	46,500	42,000	49,400	43,000	52,200
100	41,200	44,600	42,900	49,700	44,600	54,700	46,300	59,800	47,900	64,900
150	43,600	48,500	45,900	55,700	48,200	63,000	50,500	70,300	52,900	77,500
200	45,900	52,300	48,900	61,800	51,800	71,200	54,800	80,700	57,800	90,200
250	48,200	56,200	51,800	67,800	55,500	79,500	59,100	91,200	62,800	102,800

W/B, white and black printing; Color, color printing

5) 論文投稿のお願い

2016 年の投稿論文数はまだ 9 編のみで、2013 年の 50% 減、2014 年、2015 年とほぼ同数。多くの論文が掲載できるよう、積極的な投稿のお願いがあった。

* JCEH は Vol.56 よりオンラインオンリーとなる。

4. 第 5 6 回総会（熊本）の件

会長：熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学

竹屋元裕

会期：平成28年9月1日（木）・2日（金）・3日（土）

会場：ホテル日航熊本

第 26 回日本樹状細胞研究会 千住 覚

第 19 回日本血液病理研究会 伊藤雅文

5. 第 5 7 回総会（東京）の件

会長：聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科

三浦偉久男

会期：平成29年6月29日（木）・30日（金）・7月1日（土）

会場：京王プラザホテル（東京）

第 27 回日本樹状細胞研究会 榎木俊聰

第 20 回日本血液病理研究会 中村直哉

6. 教育委員会より

- ・山川副理事長よりセミナーの報告がされた。(詳細は別紙参照)
- ・「若手医師のためのリンパ腫セミナー」改訂版、第5回リンパ腫スキルアップセミナーについては新理事会にて検討する。

7. 学術企画委員会より

吉野委員長より新 home page についての報告がされた。

8. 診療保険委員会より

鈴宮委員長より活動報告がされた。 (詳細は別紙参照)

II. 決議事項

第1号議案 平成27年度決算の件

平成27年度貸借対照表及び損益計算書が承認された。

第2号議案 理事・監事選任の件

定款第25条、および26条に基づき以下の評議員が理事及び監事に選任され承認された。

山川光徳 (理事長)

[理事候補] 臨床: 青木定夫, 伊豆津宏二, 岡本昌隆, 木下朝博, 鈴木律朗,
鈴宮淳司, 新津 望, 三浦偉久男, 山口素子
基礎: 大島孝一, 小島 勝, 竹屋元裕, 田丸淳一, 中峯寛和,
中村栄男, 中村直哉, 吉野 正

[監事候補] 塚崎邦弘, 橋本優子

第3号議案 定款第57条に関するその他の細則

定款第57条に関するその他の細則が承認された。

第4号議案 第58回総会会長選任の件

第58回総会会長に中村栄男 (名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学教授) が選任され承認された。

III. 第2回社員総会議事

1. 名誉会員について

名譽会員に谷脇雅史が推薦され承認された。

2. 理事について

副理事長・各委員会委員長については新理事会にて検討する。

3. 新評議員として以下の2名が推薦され承認された。

木崎昌弘 埼玉医科大学総合医療センター 血液内科

得平道英 埼玉医科大学総合医療センター 血液内科

4. 編集委員について

委員は新編集委員長にて選任予定。

5. プログラム委員について

委員については新理事会にて検討する。

6. 日本医学会

委員については新理事会にて検討する。

7. その他

・3年間会費未納会員3名を定款に則り退会とした。

・第55回学会奨励賞・平成27年理事長賞については第56回総会にて表彰する。

*第55回学会奨励賞

谷口 恒平 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理/病理学第二)

青木 智広 (名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科)

*平成27年理事長賞

下田 和哉 (宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野)

佐藤 浩子 (いわき市立総合磐城共立病院 歯科口腔外科)

以上をもって会議を終了した。

上記議決を明確にするため、代表理事及び監事は記名、押印する。

平成28年5月20日

一般社団法人日本リンパ網内系学会

理 事 長 飛 内 賢 正

監 事 岡 本 昌 隆

監 事 中 峯 寛 和